

『セルラスのプレゼンテーションって?』—世界に通じる力を育てる—第 4 号

今回のテーマは、プレゼンテーションです。

セルラスの毎週のピアザでは、多言語習得活動と共に、プレゼンテーションも行っています。私たちのことばの活動は、単に外国語が「言える」ことではなく、何語でも相手に「伝わる」言語能力を育てることを目指しています。そのためにプレゼンテーションは大変有効です。今回は私たちが取り組んでいる、セルラスのプレゼンテーションについてご紹介します。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第 4 号の目次です。

【 目次 】

《1》～セルラスの『プレゼンテーション』・4つのポイント～

《2》～体験談～ 「自分の思いをことばにすること」 福岡くん(小6)

《3》～セルラスからのお知らせ～

《1》 セルラスのプレゼンテーションのポイントを以下の4つの内容に分けてご紹介します。

1.“体験をことばにほどく”

セルラスの多言語活動や事業に参加して、私たちは様々な体験をします。でも体験はことばにして話さないでいると、時と共にだんだんと消えていってしまいます。そこで自分が何を感じたのか、どう変化したのかなど、時には仲間と話をしながら考え、ことばにしていきます。

私たちはこれを「**体験を言葉にほどく**」と表現しています。

言葉にほどくことで、自分の体験の意味を深く理解し、それまで気づかなかった新たな体験に気づくことができます。

2.聞き手にわかることばで伝える

なぜプレゼンテーションをするかと言えば、自分の感動や発見を人に伝えたいからです。それには、聞き手が誰なのかを意識し、その人たちに伝わることばで表現することが大切です。

たとえば大人と子どもでは、わかることばが変わってきます。そして聞き手の顔を見ながら、できるだけはっきり通る声で、時には身振り手振りも加えて話します。

起承転結や間を取りながら話すことも、聞き手にわかってもらうためには大事なことです。

プレゼンテーションも話し手と聞き手双方のコミュニケーションなのですね。

3.多言語を含め、ありったけのことばで伝える

でも最初から上手にプレゼンすることを求めているわけではありません。セルラスでは、幼稚園の子どもたちもプレゼンをします。2～3才の子どもたちも心に残った出来事を話す場合もあります。

大人たちも、日本語だけではなく、多言語でプレゼンに挑戦するときもあります。そんな時は、ありったけのことばで堂々と伝えます。

セルラスメンバーは、そんなチャレンジをみんなで受け止め応援します。

4.聞くことで、“人の体験が自分の体験に重なる”「共感力」が育つ

仲間のプレゼンテーションを聞く時、相手の言おうとしていることに心から耳を傾け、想像しながら聞きます。自分の体験と重ね合わせたり、人の体験に思いを馳せたり・・・そこには共感が生まれます。

セルラスのプレゼンテーションは聞き手の共感力が育ちます。そしてそのような姿勢で聞いてくれる人々の存在が、話し手のことばをまた引き出していきます。

☆☆このようにセルラスのプレゼンテーションは、多言語習得で得られる効果と同様に、コミュニケーション力や共感力を育てています。

そしてそれは豊かな人間力を培うことにつながります☆

それでは次に、この『ピアザ』に参加しているメンバーの体験談をご紹介します。

今回は、小学6年生の体験談です。

《2》 ～体験談～「自分の思いをことばにすること」

渋谷区在住 福岡くん(小6)

【ぼくが人の中で発言できるようになったきっかけ】

セルラスの中で言われる「世界に通じる人材」って、よくわからなかったけれど、今は少しわかってきている。ぼくが考える「世界に通じる人材」は、「人の意見を素直に受け入れて、新しい考え方を知り、自分の意見と重ね合わせて、自分のプラスにしていける人。」なぜなら今セルラスにいる中学生のジュニアリーダーたちが、そういう人たちだから。

今年に入ってから、中学生以上が参加する春休みのリーダーズトレーニングキャンプの準備会が始まった。4月から新小6になるぼくたち小5も、飛び級参加を希望すれば準備会に参加できるので、ぼくもフワっとした気持ちで参加してみた。

参加して驚いた。ぼくはもちろん、小5の男子たちの何人かはあまり発言しなかったが、小5の女子や中学生たちが、キャンプでチャレンジしてみたいことや、世界に通じる人材って何？など、すごい勢いで発言していた！「レベル高っ！」って思った。

ぼくはすごく緊張していた。頭の中になんの考えも浮かばなかったから。そんな自分がほんとにいやになった。みんなの姿を見て、何か言わなきゃと思った。勇気をふりしぼって、今やったロールプレイの感想を言ってみた。そうしたら、みんな口々に「そうだね」とか「私もそう思った」とか返してくれた。うれしかった！

中学生のジュニアリーダーは、初めて発言したぼくをすごくほめてくれた。それから準備会がすごく楽しくなった。

それからのぼくは、少しずつ自分の考えが頭に浮かぶようになった。でもそれをみんながわかるようにまとめて口に出すことが、まだなかなかできない。でもぼくの大きな変化は、前は大きらいだったプレゼンが、今は前向きにできるようになったことだ。

目指すはジュニアリーダー！ 中学に入るまであと1年ある。それまでいろんなピアザにも行きながら友達を増やして、いっぱい話して自分を成長させていきたい。

【お母さんはぼくの目標】

そんな時に、先月セルラス主催の多文化教育セミナーに出た。ぼくのお母さんが前に出て体験談をプレゼンしていた。

母さんの話はすごかった！セルラスに入るまで、母さんがぼくや姉とあまり話せなくて悩んでいたなんて知らなかった。セルラスで家族がひとつのものに向かえたから、今いっぱい家族で話せていることに気がついた。ピアザの大切さを知った。母さんやピアザの人たちにこうして活動できることを感謝しないとけないと思った。

それにしても母さんはすごい！家ではあんなに緊張すると言っていたのに、あんなに上手にスラスラと人前で話せて、まるで別人だった。母さんも、ぼくの目標の1人に入れないとけないと思った。

ぼくも緊張しないで、人前で大きな声で堂々といい話ができるようになりたいと思った。ちょっと恥ずかしいけれど、母さんはぼくの「自慢の母さん」だと思う。

＜3＞ 皆さんにご参加いただけるこれからのイベント

～セルラスインフォメーション～

◆CELULAS セミナリオのお知らせ

セミナリオは、NPO 法人多言語広場 CELULAS の、1年に1回開催される催しです。

世界に通じるチカラを育てる多言語習得活動や、青少年育成事業の報告など、セルラスの最前線の情報と活動の楽しさを、皆さんと分かち合い、今後の方向性を共有するために行っています。

実際にロールプレイをやったり、みんなの体験を聞いたり、盛りだくさんの内容です。ぜひお越しください！

※詳しくはお問い合わせください。

【関東】 4/19(日)13:30~16:00

場所: 渋谷区地域交流センター恵比寿 B1F コミュニティホール

【関西】 4/26(日)13:30~16:30

場所: 西淀川区民ホール

◆セルラス多文化教育セミナー「世界に通じるチカラを育てる」のお知らせ♪

☆どなたでもご参加いただけるセミナーです。

「世界に通じるチカラを育てる」環境についてわかり易くお話しします。参加費無料！

会場のご案内、参加ご希望の方はこちらまで⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

【 関東 】

☆世田谷セミナー(下北沢・烏山)

5/25(月)・5/26(火) 下北沢

5/28(木) 烏山

☆関西地区は6月よりセミナーを順次開催致します。

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私どもの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定で